

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		長寿支援課	事業No.	356
会計		介護保険特別会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		認知症サポーター養成事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画
	法令・例規等			飯田市認知症キャラバンメイト活動補助金交付要領
事業目的		対象	市民	
		意図	認知症について、広く地域社会の正しい理解を促進するとともに、認知症の人とその家族の見守り事業を実施する認知症サポーターの養成	

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	・認知症に対する理解を広め、認知症の高齢者を見守り支えあうために、地域住民のほか、中学生や事業所単位で認知症サポーター養成講座を開催し、引き続き認知症サポーターの拡大を図りました。		キャラバンメイト派遣補助 認知症サポーター養成講座教材費				0 119					
		その他の経費				0						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	学習会回数		回	70	33	70	24	70	25			
	参加者数		人	1,500	1,261	1,500	568	1,500	708			
1年度決算(千円)	予算額		215	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		119	(国) 地域支援事業交付金 (38.5%)								
	財源の状況	国庫支出金		46	(県) 地域支援事業交付金 (19.25%)							
		県支出金		23	(そ) 一般会計繰入金 (19.25%)							
		地方債		0								
		その他		23								
一般財源		27										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)	
1	5	5	3	2	30	4	215	119	認知症サポーター等養成事業費	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
振り返り課題認識		・講習会等を通して、認知症に対する理解を広め、認知症の高齢者を見守り支えあう地域の醸成を図る必要があります。地域における講習会の開催回数を増やし、地域住民へ見守り支えあう地域の醸成が浸透する活動が必要です。								
上記の課題解決のための有効策		・団体の規模等にこだわらず機会を捉え、内容も参加者に応じ工夫するなどわかりやすく開催することが必要です。								
次年度に向けての取り組み		・地域包括支援センターや事業所、地域のキャラバンメイトと協力して、講習会の規模にこだわらず、わかりやすい内容で、きめ細かい講座開催を目指します。 ・令和2年度から「認知症施策推進事業」に統合します。								